

～「食の「もったいない」と食の「困った」を解決する「もったいないNO」の取組についての紹介」～

Code for Hiroshima 共同代表 市川 育夢

石崎 浩太郎

1 Code for Hiroshima の活動

自分たちの身のまわりの課題を、テクノロジーを活用しながら、自分たちで解決していく活動を進めている。課題解決に向けて皆で知恵をしぼり、話合う場を設けている。

今までには、自分の住む地域では、いつ何ごみを出すのか一目でわかるアプリ「5374.jp」の広島版を作成するなどの活動をしている。

2 食品ロス削減に取り組む人たちを繋ぐ取組

子ども食堂に食材を届けている方から、うまく食材を届けられるような仕組みがないかという話が出たことから、興味、関心のある方々と定期的にディスカッションをし、スマートフォンやパソコンで使うことができるサービスの試作品を作成している。

具体的には、子ども食堂のように食品ロスとなるような食材の提供を受けているところと、「食品ロス削減協力店」のような、食品ロス削減の取組を積極的に行っているようなところなど、同じように食品ロスの削減に関する活動を行っている人がどこにいるかを一目でわかるようなマップを作成している。食品ロスの削減という共通の目的を持って活動をしている方々が近くにいっても、活動をしている当人同士が知らないことが多い。現在作成しているマップが、そのような人たちの繋がりを作るきっかけになればと考えている。

また、そこで生まれたつながりから、食品ロスの削減に取り組む人たちが集まって話し合いをする中で、また新たな取組が生まれるのではないかと思う。既に食品ロス削減の取組をされている方もそうでない方もみんなディスカッションを重ねて意見を聞きながら、新たな取組に繋げていくことができたらと考えている。